

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	ものづくり振興交付金事業	事業コード	520
-----	--------------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1022
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		711

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地場産業団体等が行う産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活性化などを推進する事業を支援することを通じ、地場産業等の振興に資する。				
	概要	(社)福井県眼鏡協会、(協)鯖江市繊維協会、越前漆器協同組合に対し、産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活性化などを推進する事業を支援することで、地場産業等の振興に資する。＜交付対象事業(抜粋)：①産業観光推進事業②情報化推進事業③人材育成事業④展示会等開催および出展事業⑤市場調査事業⑥産地PR事業⑦伝統工芸技術継承事業＞				
	法令根拠	なし				
実施形態	現在	市直営				
内容	眼鏡・繊維・漆器の地場産業界の各団体に対して、各種団体が産地振興のために取り組む各種事業に対して、その費用の一部を交付する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難		回	目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	ものづくり振興交付金を活用した展示会出展企業数		社	目標値	130	135	140	145	150
				実績値	148	145			
	計算根拠	眼鏡(ミド、シルモ、上海、北京、I OF T等) 漆器(ギフトショー、ホテルレストランショー等) 繊維(ものづくり博覧会等)		達成率(%)	113.8	107.4			
				ランク	A	A			
			実数値						

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業委員	正規職員	0.5	タイプ	会計	一般会計
	予算額	37,600	37,420		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	36,125			※所要時間			経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

C E N T R A L C O M P O N E N T S (E V A L U A T I O N)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	産業界自らが、産業活性化に必要な事業を企画・実施しているが、資金面で苦慮しており、ニーズは十分にある。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	本市のものづくり産業振興には、産地PR、ブランドの確立、新産業の創出等の課題があり、支援する必要がある。	
	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競争している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> あり	主体	福井県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		事業名	眼鏡技術活用異分野チャレンジ支援事業等	
		根拠	県補助金は、支援対象・事業内容が限定されている。業界からの要望もあり事業の廃止は不可能	
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名			
	根拠			
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	事業の実施方法を工夫することで経費削減が可能と思われる。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 補助金等の活用	根拠	事業の内容、実施方法によって国や、県の補助金を活用する方法がある。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	交付団体の意識の向上を図ることで、事業の実施方法を工夫することが可能と思われる。		

A C T I O N	【平成24年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成25年度 方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成24年度取組み 眼鏡・繊維・漆器の地場産業界の各団体に対して、各種団体が産地振興のために取り組む各種事業に対して、その費用の一部を交付する。	平成25年度計画 眼鏡・繊維・漆器の地場産業界の各団体に対して、各種団体が産地振興のために取り組む各種事業に対して、その費用の一部を交付する。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能						〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施			